

## 平成29年度事業計画 基本方針

市は昨年10月「町から市に移行した記念の年」、として宮城県内14番目の市が誕生した。「住みたくなるまち日本一を目指して」のスローガンを掲げて、市民総参加で新しいまち作りに取り組んで行くことにしている。

政治経済面では、アメリカ大統領がトランプ氏に変わり大統領令に世界が振り回されている。国は一億総活躍社会等展開して、第三次アベノミクスが目指す経済優先政策が軌道にのり、デフレ脱却が図られ景気が良くなるよう期待したい。

また東日本大震災から6年が経ち、未だに復興が進んでいない地域や被災者の生活も今なお不自由な生活を送っている方もあり一日も早い復興が望まれる。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は、今後益々変革と多様化の一途を辿る事は必至である。国は高齢者の定義を75歳とするよう改め、生涯現役社会を目指している。センターとしても生涯現役世代の受け皿作りと組織強化に一層努力し就業開発事業に取り組んでいる。

このような現状を踏まえ、当センターの事業運営は公益目的事業を柱にし、引き続き「地域に根差し市民から信頼されるシルバー人材センター」を旗印に、事業に取り組むものとする。今年度も子育て・福祉家事援助サービス、ワンコインサービス事業の更なる推進と地域社会への貢献と奉仕に努めてゆく。

また就業開発事業について企業訪問を実施しシルバー事業内容を説明し理解を得ながら就業拡大を推し進める。毎戸個人宅を訪問しチラシ等でシルバーの仕事の内容をPR、会員募集もあわせて実施し会員による口コミ、市広報誌、ホームページ、センター広報等を活用し会員募集を図り一人でも多くの会員の増加に取り組むものとする。

我々の念願である「ワークプラザ」は旧庁舎をリフォームし『(仮称) 富谷まちづくり産業交流プラザ』の中に平成30年夏頃までに入所することが決定し市当局、市議会をはじめ関係機関のご努力に感謝申し上げる次第である。

また、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、高齢者に就業機会を提供し、各ボランティア活動をはじめ、各種活動を通じて地域社会に貢献できるよう事業の推進に努めいく。

本事業とは別に富谷市シルバー友の会が活動を開始し、今後益々会員間の親睦と共助が図られ、生きがい作りに貢献していくものと期待している。

## 第1 事業方針

### 1. 事業計画、会員拡大の目標数値等

区 分	目 標 値	前 年 対 比
会 員 数	480人	104%
受 注 件 数	1,670件	101%
受注契約金額	255,000千円	104%
(受託事業)	(180,000千円)	(102%)
(労働者派遣事業)	(75,000千円)	(108%)
就業延人員	50,000人日	102%
就 業 率	94%	101%
粗 入 会 率	3.70%	103%

※ 「前年対比」は前年実績予測値に対しての数値。

## 第2 事業計画

### 1. 雇用によらない就業機会の提供

#### (1)受託事業

国は一億総活躍社会の政策を打出した。センターは高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに生涯現役で、活力ある地域社会づくりに寄与するため、公共団体、一般家庭、企業等の就業を通し地域に密着した就業機会の提供を行う。

#### (2)独自事業

高齢者が独自の創意工夫により、独自事業を展開する。

- ア. 刃物研ぎ、和洋小物作り事業の拡大
- イ. 書道教室などの事業の拡大
- ウ. ワンコインサービス事業をすすめる
- エ. 出張しての事業展開を実施

## 2. 雇用による就業機会の提供

### (1) 有料の職業紹介事業

仕事を希望する一般高齢者及び会員を対象に、有料職業紹介の提供を行う。

### (2) 一般労働者派遣事業

一般労働者派遣事業の派遣元である連合本部の実施事業所として、会員を対象に国が示したガイドラインに沿った一般労働者派遣事業による就業機会の提供を行うほか、安全衛生講習会等も実施する。また労働基準法に準拠した整備を行い高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、派遣事業の拡大推進を今後とも根気強く取り組んでいく。

## 3. 就業に必要な知識及び技能を付与するための講習

### (1) 講習事業

活力ある地域社会に寄与するため、一般高齢者及び会員を対象に、希望する業務分野の技術を意欲的に習得し、就業の機会につなげていくことを目的に講習を行う。

#### ○連合会主催高齢者活躍人材育成事業

一般高齢者及び会員を積極的に募集参加させる。

#### ○センター主催

一般高齢者及び会員を対象に、年間計画に基づく講習を実施する。

## 第3 事業推進のための活動

### (1) 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施する。

ア. 就業開拓員による全世帯チラシの配布（仕事のPR・会員募集）

イ. 就業開拓職員による就業機会の開拓（専従班を配置）

（事業所訪問、一般家庭訪問）

### (2) 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施する。

- ア. 普及啓発月間における活動（12月～3月）
- イ. 開拓員による全戸チラシ配布
- ウ. 市広報誌に掲載
- エ. 会報の発行（年1回全戸配布）
- オ. ホームページの整備と情報公開
- カ. シルバーフェアによる一般市民へのPRの継続実施
- キ. 地域交流事業による地域住民との交流

### (3)調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには仕事の質の向上、新たな就業活動機会の開拓方策を研究実施するために行っており、以下のことを実施する。

- ア. 会員への意識調査アンケート
- イ. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)
- ウ. 役職員視察研修の実施

### (4)相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供する。

- ア. 入会説明会 毎月1回（出張入会説明会の開催）
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時

### (5)安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努める。

- ア. 安全・適正就業委員会の実施
- イ. 安全パトロールの実施
- ウ. 安全運転講習会の実施
- エ. 安全就業講習会の実施
- オ. 安全・適正就業推進大会の実施
- カ. 安全便りの発行
- キ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化)
- ク. 緊急連絡カードの活用
- ケ. 会員に対し事故防止の意識の高揚を図る(講習会開催)

## (6) 会員増強の促進

第3次中期行動実施計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図る。

- ア. 開拓員によるチラシ配布(会員募集・仕事のPRも記載)
- イ. 入会説明会の実施(毎月1回)
- ウ. 市広報誌への会員募集の掲載
- エ. 賛助会員・特別会員の奨励
- オ. 女性部会「ハナミズキ」の定期的開催による女性会員の拡充
- カ. 移動入会説明会の実施

## (7) ワークプラザ施設整備の具体的推進

拠点整備はシルバー人材センターの諸活動を円滑かつ効率的に運営する上で必要不可欠である。この度、市では平成30年度夏頃までに交流センターを作り、そこにシルバーセンターの入居計画が図られた。

- ア. 施設整備調査検討委員会を整備実施委員会に改称し検討を進める
- イ. 市及び関係機関との打合せなど具体的内容の検討提案

## (8) 自主防災組織の確立

富谷市と「災害時における応援協力に関する協定」を締結したことにより、当センターとしても地震等有事に対しての対応を円滑に行えるよう、自主防災組織を確立し、災害備品等の整備、防災訓練等を実施し、富谷市当局と連携して災害等に備えるようにする。

## (9) 創立15周年記念事業の具体的推進

創立15周年の区切りと新たなスタートを切るため、平成30年2月に記念事業(記念特集号広報誌発行)を実施すべく、実行委員会を立上げ準備を進めていく。

## (10) 福祉・家事援助サービスの推進

市が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員のスキルアップを図る。

### 1. 育児支援サービス

- (イ) 子育てサロン「ほっと育<sup>す</sup>く」の継続運営
- (ロ) 移動サロンの実施
- (ハ) 一時預かり

(二)子育てスキルアップ講習会の実施

2. 家事援助サービス

(イ)高齢者への家事援助「ワンコインサービス事業」の充実強化

(ロ)家事援助講習会

(11)社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深める。

ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動の実施

イ. 「富谷市行事」の積極的なボランティア活動への参加

ウ. 「シルバーの日」の公民館等清掃作業の実施

(12)地域就業機会創出事業の取組

2020年（平成32年）伊達政宗の命によって内ヶ崎織部が富谷に開宿して400年を迎える。奥州道中歌に「国分の町より七北田へ、富谷茶飲んで味は吉岡・・・」と歌われているが、当時富谷ではお茶が特産だったことを踏まえ、地域おこしの一環とすると共に地域文化の伝承にも役立てたい。

この事業取組にあたっては、市、商工会、シルバーと関係機関で展開して行くことを考えている。

(13)事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化もあわせて行う。

ア. 不要支出の洗い出し無駄な支出を抑える

イ. 日常の消費節約の励行に努める

ウ. 監事による月次監査を実施し更なる健全経営を目指す